



特定非営利活動法人

南大阪地域大学コンソーシアム ニュースレター

NO.13 2008 April

「第3回学生国際ショートムービー映画祭 in 関空」

CM商談会同時開催!!

今年で第3回目となる南大阪地域大学コンソーシアム主催の「学生国際ショートムービー映画祭 in 関空」が、平成19年11月23日(金)、関西国際空港エアロプラザにて開催されました。今年のテーマは「再生一生まれかわり」。1次審査通過の19作品の審査上映会の後、映画監督で大阪芸術大学映像学科長の森一樹教授をはじめとする審査委員により、グランプリ、準グランプリ、企画・編集・演出賞などの表彰式が行われました。今年は韓国からの応募作品が準グランプリを受賞するなど、まさに「国際」映画祭となりました。昨年度に引き続き「水の広場」ではJAZZ演奏など学生による

イベントも実施され、また、今年から作品を出品した学生の発想力や技術を生かしたCM制作の「商談会」が開催され、5件のCM制作が成約しました。

協力：関西国際空港(株)

後援：大阪観光コンベンション協会、堺観光コンベンション協会、堺市、近畿経済産業局、大阪府国際交流財団

協賛：松下電器(株)、シャープ(株)、(株)キネマ旬報社、ホテル日航関西空港、(株)フットノート、マインドベース(株)、(株)プロスパー・コーポレーション、(株)JTB地球倶楽部

≡ グランプリ受賞者 ≡

■ 山口 翔 (グランプリ受賞者)

作品名：「trip」

所属：静岡文化芸術大学

スケッチブックに描いたイメージが現実となって現れる。そんな誰もが一度は考えたことのある世界を表現しました。



■ 粟田雄貴 (準グランプリ受賞者)

作品名：「BACK TO THE おじいちゃん」

所属：羽衣国際大学

孫を守るという約束を果たせなかったおじいちゃんが、姿を変えて孫の前に現れ、約束を果たそうとする温かい物語。



■ 金 英國 (準グランプリ受賞者)

作品名：「落書」

所属：韓国弘益大学

一人の子供が落書をして、その落書が音楽になり、その音楽を聴いて、その子供がもう一度落書をする。



桃山学院大学イベントサークル「Capricious!」メンバーの奥谷です。当イベントでは、会場横の特設ステージで行われた学生イベント会場での司会、そしてCM商談会の司会を担当しておりました。なおカプリシャスは、前年の第2回映画祭を手がけており、今回も引き続き運営者として参加することとなりました。

司会など全くの未経験であった私にとって、それを任せられるということについては、戸惑いを隠せませんでした。出演者の皆様、そして観客の皆様楽しんでいただけるように、誠心誠意役割を全うしました。準備段階では広報不足の問題や、出演者との交渉、スケジュール調整などが難航しており、今後の課題とすべき点もありましたが、臨機応変に対応することにより、結果として皆様に満足していただけるものに仕上がったと思います。そして、カプリシャスメンバーをはじめとして、同大学サークル「LOVE & PEACE」といった方々のサポートもあり、イベントをスムーズに進行させることができました。

関空映画祭、CM商談会は、まだまだ規模の小さなイベントですが、第4回、5回と回数を重ね、学生やアーティストの優秀な才能を世に送り出すことができる場として、発展させていきたいと思っております。またカプリシャスでは、映画祭だけでなく、今後も皆様に楽しんでいただける、質の高いさまざまなイベントを提供していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

平成20年2月18日

新感覚イベントサークル「Capricious!」奥谷欣也

堺市長新春訪問記



毎年恒例となった松浦理事長、三村、小田両副理事長、長谷川事務局長による市長訪問が、平成20年1月17日(木)午前11時から、堺市役所内の市長室にて行われました。今年度、本コンソーシアムでは文部科学省からの

委託事業で「茶文化からCHA文化へ」という茶の湯にちなんだ教材の開発に取り組んでいたこともあり、市長との話題は、自然に茶の湯の話になりました。シャープの新工場誘致の話題でも盛んに意見が交わされ、学生たちにとっても新しい働き場としての期待感が理事長から伝えられました。

単位互換のお知らせ!

14大学・短大の学生が他校で学ぶ

南大阪地域大学コンソーシアム単位互換制度とは、同制度に参加する大学間で、学生が他大学の科目を履修し、それを在籍大学の単位として認定する制度です。成績評価は科目開設大学が行い、その評価に従って学生の在籍大学が単位を認定します。

平成19年度は、昨年度に引き続き、夏休み期間中にセンター科目を関西国際空港にて開講し、大盛況に終わりました。センター科目は、今年度も開講します。

自分の大学とは一味違った南大阪地域大学コンソーシアム会員大学の講座を受講してみませんか!

単位互換のパンフレットは4月に各大学で配布予定です。

■参加校：大阪大谷大学、大阪大谷大学短期大学部、大阪芸術大学、大阪女子短期大学、大阪府立大学、大阪夕陽丘学園短期大学、関西福祉科学大学、帝塚山学院大学、羽衣国際大学、阪南大学、プール学院大学、プール学院大学短期大学部、桃山学院大学、和歌山大学

桃山学院大学



2008年4月、文学部から「国際教養学部」に改組します

1年次には、週4回の高密度カリキュラムで英語を鍛え、また幅広い専門分野への入門科目で基礎力を養い、2年次からは「英語コミュニケーション」「ヨーロッパ・アメリカ文化」「アジア文化」「Japanese Studies」「メディア文化」という5専修に分かれ、実践的な知識と教養を身につけることができます。

◆住所：大阪府和泉市まなび野1-1
TEL：0725-54-3131(代)
URL：http://www.andrew.ac.jp/

和歌山大学



国立大学初の観光学部と教育学部の新展開

和歌山大学の新しい動きです。国立大学初の観光学部がスタートします。学生定員は110名です。観光経営と地域再生をリーダーとして担う人材を育成します。「南大阪の歩き方」や「閑空研究会」などコンソーシアムの観光の取り組みに積極的に参加します。また、全国トップ・クラスの教員採用実績を誇る教育学部は教員養成課程を100名から145名に拡充しました。総合教育課程(40名)では、文化研究や環境教育プログラムを学びます。

◆住所：和歌山市栄谷930
TEL：073-457-7010
URL：http://www.wakayama-u.ac.jp/

法人会員

大阪大谷大学
大阪大谷大学短期大学部
大阪芸術大学
大阪女子短期大学

大阪府立大学
大阪夕陽丘学園短期大学
帝塚山学院大学
羽衣国際大学

プール学院大学
プール学院大学短期大学部
桃山学院大学
和歌山大学

清風情報工科学院

個人会員参加校

大阪観光大学
大阪教育大学
大阪健康福祉短期大学

大阪市立大学
大阪千代田短期大学
関西福祉科学大学

近畿大学医学部
太成学院大学
阪南大学

賛助会員

株式会社 八木萬

理事会・総会が開催されました

3月28日(金)、さかい新事業創造センター 多目的会議室にて、平成19年度第2回理事会・第12回総会が開催されました。議事の内容は以下の通りです。

<議案>

第1号議案 議事録署名人の選出の件
第2号議案 平成19年度事業報告の件

第3号議案 平成20年度暫定事業計画(案)および平成20年度暫定事業収支予算(案)承認の件

第4号議案 役員改選の件

第5号議案 事務局への職員派遣および事務局職員体制の件
その他

1. 戦略的へ共同申請の件
2. 教員免許更新業務の件 他

連載

コラム 13 「地域連携学校教育のできる教員養成」

大阪教育大学 教職教育研究開発センター教授 関 隆晴

未曾有の激しい変化の時代、21世紀もう8年。科学技術の進歩は、昔一部の人のものであった豊かな暮らしを多くの人々が享受できるようにしましたが、20世紀の戦争による犠牲者は1億人を越えたとも言われています。IPCCは今の地球温暖化の原因が人間の活動にあることを明言し、環境問題は地球規模での対応を迫っています。そしてICTの発達は世界の人々の情報共有を可能にしました。

豊かな生活を享受してきた日本人は「ぬるま湯の中

のカエル」?今の子ども達が大人になる20年、30年先、彼らはどのような生活をしているのでしょうか?その時代を生き抜く力を持った子どもを育成することが今の大人に求められています。

そんな思いを胸に、平成18年度より大阪教育大学では現代GP「地域連携学校教育のできる教員養成」を展開しています。南大阪地域大学コンソーシアムと共に、地域連携学校教育を点から面に広げて行きたいと思っています。

若チャレ！しごとキャンパス in 大阪

12月2日(日)、大阪府立大学中舌鳥キャンパスで「若チャレ！しごとキャンパス in 大阪」が開催されました。

この若チャレ(若者の人間力を高めるための国民会議)は、2005年にスタートした若い世代が「しごと」や「キャリア」について考える機会を、政府、企業、地域が連携して、もっと増やしていこう、という厚生労働省のプロジェクトです。

本イベントは大阪の他、熊本、東京でも開催されました。

基調講演

～東大阪出身の塩爺が、大阪の若者・市民に伝えたいメッセージ！～
「大阪から発信する若者のしごと」
元財務大臣 塩川正十郎氏

第1講座

「今、社会と会社で求められる力」
和歌山大学キャリアデザインオフィス室長代理 本庄麻美子氏
「これから社会人になる若者たちに伝えたいこと～551蓬莱の考えるしごと」
蓬莱 取締役 営業部長兼人事部長 田中一昭氏

「地域リーダー養成講座～スキルアップしませんか？」
堺市 生涯学習指導者養成(応用編)講座の講師・参加者

第2講座

「社会への架け橋としてのキャリア支援」
羽衣国際大学 産業社会学部学部長・キャリア教育委員会委員長 岡本義温氏
「働くってどういうこと?～学生から社会に問いかける」
大阪府立大学学生団体 Hub and Spoke

和歌山大学

経済学部 就職担当教員・キャリアデザインオフィス室長代理
本庄麻美子

今回、この講座を担当させていただくにあたり、60分という非常に短い時間ではあったが「参加型ワークショップ」形式で実施することにこだわった。一方的な講義では一般論で終始してしまう。特に、学生をはじめとする若者に、普段考える機会の少ない“自分自身の価値観”と、是非向き合ってもらいたかったからである。しかし、仕事の一線から退いた方も含め年齢層が高い受講者が全体の9割だったこともあり、期待していた内容と違ったようにも見受けられたが、意見交換の場面では、どこのペアも積極的にディスカッションができていたことが非常に良かった。また、ある学生から「今回の講義内容をそのまま自分のゼミで実践したい」と要望があり、レジュメの提供等させていただけただけでも1つの効果であるといえる。

大阪では、「大阪という地域に密着して、「しごと」を考える」をテーマに「しごと」を考えるイベントを開催、講師も大学教員から、学生自身まで、若者から一般の方々まで「しごと」を新しい視点から考える貴重な一日となりました。

また基調講演には元財務大臣 塩川正十郎氏も登場し、盛り上がった1日でした。

大阪府立大学大学院 工学研究科 航空宇宙海洋系専攻 修士2年 大阪府立大学・就職支援ネットワーク「Hub and Spoke」代表 大塚有企朗

今回、若チャレしごとキャンパスに参加致しまして、働くということと教育について考えるきっかけとなりました。

まず、塩川先生による「大阪から発信する若者のしごと」についてのお話を聴いて、その中に「教育」についてのお話がありました。この若チャレの趣旨である若者の人間力を高めるという点において、「教育」というのはしっかりと考えるべき項目の一つであり、考えさせられる問題についての塩川先生の意見を拝聴し勉強になりました。

次に第一回講座で行われました田中一昭氏による「これから社会人になる若者たちに伝えたいこと」では、田中さんのごっくばらんなトークに盛り込まれた若者へのメッセージは仕事に対する面白くなさそうなイメージを払拭してくれました。田中さんの蓬莱という会社に入る過程・蓬莱でどのような信念を持って望んできたか・人脈の重要性などの話から、社会において必要なこと、楽しいことを伝えるすばらしい講演でした。

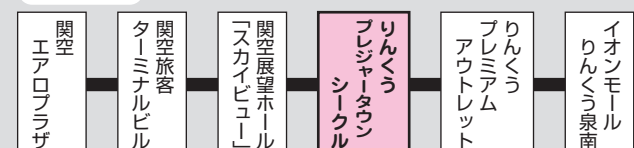
最後に大阪府立大学 就職支援ネットワーク「Hub and Spoke」による「働くってどういうこと」と題して、パネルディスカッションを行わせていただきました。来年度より社会人となる内定者4人を集め、働くことについて議論する場を設けさせていただきました。このイベントでは、私たちの団体が働くことについて考えると共に聴講者の皆様にも最近の若者が考える働くことに対してのイメージを理解していただくというコンセプトで行いました。今回のイベントを通して、私たちの団体の成長につながるのと同時に来ていただいた方に働くということについて考えるきっかけになっていたら幸いです。

今後、このようなイベントが増え、働くこととはなんだろうか?どのような目標を持って社会に臨んでいけばよいのか?ということが若いうちから考えることができる社会ができれば良いと思いました。

Look! スカイシャトルの停留所に シークルが追加されました

関西国際空港と対岸のりんくうタウンを結び、りんくうプレミアムアウトレット・イオンモールりんくう泉南へ運賃100円で手軽に行けるアクセス手段として、多くの方にご利用いただいている周遊バス「スカイシャトル」。この「スカイシャトル」が、りんくうタウンの新しい商業施設「シークル」にも停車するようになりました。また、始発も1時間早くなり、ますます便利になっています。

運航ルート



始発便(毎日)
09:55 → 10:00 → 10:08 → 10:20 → 10:25 → 10:35
(1時間早くなりました!) (折り返し運行)
～この間で平日は12往復、土日祝は17往復～
最終便
19:05 → 19:10 → 19:18 → 19:30 → 19:35 → 19:45
(ただし、土日祝は18:55)

■ 関空メールマガジン発信中

関空を応援してくれている方々に、関空の最新情報を漏れなくお届けできるように、関西国際空港ではメールマガジンを発行しています。新施設や新サービスのお知らせやイベント情報、お得な情報などなど、関空の最新情報をお届けします。

登録は関西国際空港のホームページから行えます。

是非ご登録ください。

<http://www.kansai-airport.or.jp/>



■ コンソーシアム会員様にお得な情報!

ホテル日航関西空港のご協力を得て、コンソーシアムの学生、教職員を対象にした特別宿泊プランをご提供いただいております。大変お得なサービスとなっておりますので、この機会に是非ご利用ください。

■ 予約方法: TELにて直接予約。

■ 電話で予約の際は、当プランを利用の旨と大学名を必ず伝えてください。

■ チェックインの際に学生証、大学証をご提示ください。

期 間/2008年4月1日(火)～2008年9月30日(火)

1泊/朝食付/お1人様料金/サービス料・税金込み

スタンダードツインルーム29㎡ 2名様1室利用 6,300円

スタンダードツインルーム29㎡ 3名様1室利用 5,500円

フォースルーム58㎡ 4名様1室利用 5,000円

1泊朝・夕食付プランもご用意しております。お問い合わせ下さい。

ご予約・お問い合わせ 072-455-1111

平成17年度から続いていた経産省委託キャリア教育プロジェクトもとうとう終了しました。この3年間でいつの間にか、延べ2,099人も小・中学生さらに幼稚園生が授業を受けたことになります。これだけの授業を実施するにあたり、堺市教育委員会・堺市商工部・企業の方々をはじめ、たくさんの方にご協力をいただき、非常に感謝をしています。

南大阪地域大学コンソーシアムのカリキュラムは商品企画を通して徹底的に考え、伝え、行動につなげることをクセにし、自分の活かし方、社会の活かし方を学ぶプログラムです。3年目の今年度は、このプログラムは南大阪だけではなく全国でも非常に注目されていることを特に実感する1年でした。

特に学生トレーナー達の成長も目覚しく、子ども達だけではなく、学校の教員からもとても頼りにされていました。学生自身にとっても自分の生き方を考える絶好のチャンスになったようです。3年間ほんとうにありがとうございました!



松田 拓

プール学院大学大学院国際文化学研究所 1年



福田小学校6年生のキャリア教育「こんな自転車欲しかってん!!」に参加させていただいた。僕自身キャリア教育に携わったのが初めてで、参加させてもらった動機も教授に勧められて…という今思えば非常に曖昧なものだった。そんな状態で始めたキャリア教育だったが気づけば物凄く熱中していた。

「誰のために」「企画する上で考えなければならないこと」「環境や周りに与える影響は?」など6年生にしては難しいお題なのでは?と思っていたが、彼らは見事にそれらの難題を乗り越えようとしてくれた。授業当初こそ目的が見えずになかなか波にのれない。しかしグループワークに入り、周りの友達の意見に触発されるようになって「じゃあこうしたらどうだろうか」など皆と一体になって取り組んでいる姿が彼らの成長の証だった。何より彼らの発想はいい意味で「不意」をついてくれるものばかり。枠にとらわれず、しかし現実不可能のものではなく、現実可能なレ

ベルで考えを練り上げている。考えては壁にぶつかり、また違う面から自転車を見つめなおし、更に議論を進めて自分たちの自転車の完成へと導いていく。その姿が、仲間と切磋琢磨する姿が、僕にはなんとも心地よかったし、彼らを更に大きくしていく。

彼らがやっていることは僕がこれから必要となる「論文」の書き方と同じではないか? 1つの到達点を目指すために多面的に物事を考察、議論を進め、現実を見据えながらオリジナリティも組み込む。それはまさに「修士論文」を書き上げる僕にとっても必要なことだった。それを小学生に、このキャリア教育に改めて気づかされた。そういった点でも非常に収穫が大きいものだった。

曖昧な目的から始まった今回。しかし可愛い子ども達、すばらしい先生たちと触れ合えたのは大きかったし僕も多くを学ばせてもらった。自分の知識を、愛情をもっと与えたかった部分もある。

曖昧さが彼らと共に作り上げるとい一体感に変化し、更に多くを気づかされた。これは僕自身にとっての「キャリア教育」でもあった。

赤沢直人

桃山学院大学文学部
4 回生

小中学校のキャリア教育のための学生トレーナーやサポーターを行う活動は、私にとって大きな自信につながりました。私は、大学生の間に来ることには出来るだけ挑戦したかった、子どもが好きだった、他のいろいろな大学の学生と交流を持つなどの理由で、この活動を始めました。

最初は、授業で教員補助をするサポーターから始めましたが、竹城台小学校では、昨年の白鷺小学校に続いて、教員と連携授業を行うトレーナーとして活動しました。竹城台小学校の6年生は、この年頃によくあることですが、少々やんちゃな学年で、特に女の子は大人びているせいか、つつい本心ではないことを言うような子ども達でした。昨年はどちらかというと「良い子ちゃん」と接する機会が多かったので、逆に新鮮で、刺激的な経験をしました。

竹城台小学校での活動の中で一番嬉しかったことは、最初はなかなか言うことを聞いてくれなかった子どもたちが、最後には自分たちから行動してくれるようになったことです。中でも特に印象に残っているのは、キャリア教育も終盤に差し掛かったころ、いつもは他のクラスにチャチャをいれにくる女の子たちが、体育館でのプレゼンテーションの予行練習後、私たちトレーナーが後片付けをしていたときに、最後まで残って、パイプ椅子を一緒に片付けてくれたことです。

一方で、一番辛かったことは、子どもたちが話を聞くと

うことが出来ず、先生やトレーナーに注意されることが多かったことです。本番の発表会で審査員の方もおっしゃっていましたが、これが出来ていたら、さらに良いプレゼンテーションになったことは間違いなかっただけに非常に残念です。

しかし、後で先生に聞いた話によると、キャリア教育終了後、話を聞く場で、いままでになく静かに話を聞いていたそうです。これには少し驚いたと同時に、「やったことがキチンと身についたんだな」と安心しました。

私は、この活動を通して、自分でも努力すれば結果を出せるという自信や、あきらめず、やり抜く力が身に付きました。この活動で得た大きな自信という成果を無駄にすることのないよう、今後、社会に出たときに、この活動で学んだことを生かすことが出来るようにこれからも頑張りたいと思います。





3年目を終えて

キャリア教育に携わらせていただいて早くも3年がたちました。

一年目は子供たち、先生方と一緒に試行錯誤で、毎回何をしたいのかわからず緊張していたのを覚えています。

2年目になると少し慣れてきたものの、自分の勉強不足からうまくアドバイスをすることができず、後悔したこともありました。

今回最後の年。私には二つの目標がありました。一つは「最後まで見届けること」そしてもう一つは「自分にできるすべてのことをして、すがすがしい気持ちで終えること」です。

過去に数校、2年間にわたりトレーナーをさせていただいていたのに、最後の発表を見たことがなくて一つ目の目標を立てました。もう一つの目標は、これを区切りに就職するので、心残り（もっとああしていたら…）なく終えたいという願望からこの二つの目標を立てました。

結果的にこれらは達成されることとなります。それも、これ以上ないほど恵まれた環境の中で。

今年行かせていただいたのは、過去2年間にわたってキャリア教育に積極的に取り組んでいた西陶器小学校。

入ってみてすぐに先生方との距離感に驚きました。私のような学生トレーナーの話真剣に聞いてくださって、その日の流れ、進行、本当に色々なことを任せてもらい、またサポートをしてくださいま

す。子供たちも素直で、人懐っこく、毎回行くのが楽しみでした。

先生方、もう一人の学生トレーナー、そして子供たちと何度も失敗を繰り返し、試行錯誤の未完成した発表内容。最終発表日は元氣いっぱい個性あふれる発表に、胸がいっぱいでした。どの自転車も本当に魅力的で、どのプレゼンも本当にすばしかったです。

次の日、子供たちの前で最後の挨拶をしました。「私は東京に就職します。みんなは今日の日を忘れず、仲間を大事にしてください」というメッセージを残して。

この3年間キャリア教育で学んだことは本当に色々ありますが、子供たちの素直さ、ひたむきさ、仲間を思いやる気持ちだけは、就職してもずっと忘れてはいけないと強く思いました。

最後になりましたが、このような場を与えてくださったコンソーシアムの皆さん、本当にありがとうございました！！



今年度は堺市を飛び出し、NPO法人日本教育開発協会(JAE)のご協力もいただきながら大阪市住吉区の大阪市立清水丘小学校でも実施しました！

私は清水丘小学校の六年生のキャリア教育にトレーナーとして参加しました。プログラム『こんな自転車欲しかったん！』では、6~7人のグループの中で一つの「自転車」を企画するというものでした。30時間という長い授業数をかけた企画の中で求められていたものは、購入者の気持ちを考え、素材や部品等詳細部まで考え抜かれた商品。こんな今まで直面したことがない課題に、疑問符をいっぱい浮かべている子ども達も多かったです。しかし、企画が始まると、グループ内で活発に意見を交わし合う姿や、上手に作業を分担しながら企画を進めていく姿を多く見ることが出来ました。子ども達は、自分一人では見えなかった視点をグループ内で共有したり、一人の意見や考えをグループ全体で評価し、さらに発展させ



て考えたり、力を合わせて作業を進めていました。このように協力し合いながら作業を進める中で、ひとりひとりでは埋めることが出来なかった穴をグループみんなの力で埋めていました。そして、待ちに待った完成した「自転車」を発表する日。緊張して、台詞を忘れてしまう子もいました。そこもちろんグループ内でフォロー。素晴らしい発表会でした。企画された自転車は、どれも使用者のことを考えた工夫が多く盛り込まれていました。数十年後、企画された商品が店頭に並ぶのを楽しみにしていきたいと思います。

今回、子ども達の企画と一緒に参加する中で、私自身多くのことを学びました。広い視野で物事を考えることの大切さを教えてくださった株式会社シマノの方々、プログラムの進行をフォローして下さった清水丘小学校の先生方、チームワークの大切さを肌で感じさせてくれた子ども達のみんな、そしてこのプログラムに携わる機会を与えてくださったNPO法人南大阪地域大学コンソーシアムとNPO法人JAEの方々に感謝しています。どうもありがとうございました。



「南大阪の歩き方」は、学生の視点から、南大阪地域のまち、文化、歴史、観光拠点などを発掘し、地域の活性化に貢献することを目的として実施しています。参加学生たちが南大阪の面白さを発見、レポートしてくれました。

南大阪の歩き方中間報告会

平成20年2月22日（金）午後1時半～4時半、なんばパークスにおいて、第5回「南大阪の歩き方中間報告会」が開催されました。今年度の参加チームは、大阪府立大学チームによる堺市内の神社仏閣の魅力再発見、帝塚山学院大学チームによる小学生の視点からの泉北地区での活動、和歌山大学チームによる車利用と公共交通利用による和歌山の歩き方の3つの報告がありました。



大阪府立大学の発表の様子



帝塚山学院大学の発表の様子

今年も各チームがパワーポイントや音響などを使用し、工夫が凝らされた楽しく、興味深い発表となりました。また、今年度は、目に見えない歴史を発掘することで、地域の魅力を探求したり、小学生の視点も含めた地域の魅力さ

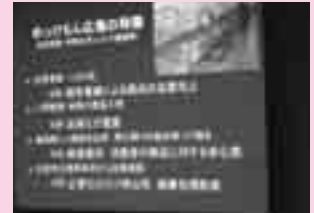
がし、交通手段によって見方を変えるなど、それぞれが独自の視点を探求しての新しい「歩き方」が模索されていました。

この「南大阪の歩き方」は、学生の視点を生かした地域の掘り起こしを目的としていますが、今回で5回目を迎え、新たな前進が得られたと感じました。

これらのフィールドワークを通して、ゼミ生同士のつながりや、プレゼンテーションの工夫の凝らし方など、他の様々な面でも得るものがあったようでした。参加した学生の皆様には、この経験を生かし「自分たちの視点」が意味を持つことを自覚し、自信をもって歩いてほしいと思います。

また、ご指導いただきました先生方には紙面を借りて改めて御礼申し上げます。

今年度の成果として、最終報告書、HPでの公開は、5月頃を予定しています。ご期待下さい。



和歌山大学の発表の様子

大阪府立大学

「堺市を中心とする」

指導教員…西田正宏 准教授

ある撮影係の手記

大阪府立大学人間社会学部言語文化学科 3年生 泉 侑里



その瞬間を待ちわびていた時の心音を、私は忘れないだろう。堺再発見の日——このプロジェクトでの、初めてのフィールドワークの日。仲間たちと踏み出すその時を待っていた、胸の高鳴りを。

その日、私は撮影係であった。新調したデジタルカメラは、すでにカスタマイズが済んでいる。のちのフォーラムでの発表のため、画像は多いほうがいい。そう考えていた。

集合場所の南海堺東駅から出て、私たちの「再発見」調査は始まった。道すがら、もうみな笑顔だった。どんな発見があるのか、待ちきれないといった面持ちだ。途中、道に迷ったときですら、笑いは絶えなかった。

いくつかの寺や神社を見て回り、チンチン電車にも乗った。車内からの視界は、意外に高かった。乗っていると、なんともノスタルジックな気分になる。だが、見える風景は、整備されきったアスファルトの道路と街並みなので、情緒がやや足らなかった。古いものは、失われていくのだろう……そう思うと、心の中に焦りが湧き出た。なんとしても、何か「再発見」して報告しなければ、いけないと思った。

その調査のなかで行った、船待神社でのことだ。その神社は、住宅地の中にあつた。周辺の道は、地元の人間しか通らないのであろう。とても狭い道だった。

そこで、私は自分の仕事をする。社をカメラに収め、

敷地の内側から鳥居を撮った。白い鳥居には、金色の梅紋。百度石に、寄付をした人間の名が刻まれている。信仰する者の存在を、語っていた。

あらかた撮影をして、さて他の場所に移ろうかという時になって、私は視界の端に映った、黒い影に気がついた。それは、水掛不動だった。神社に、仏の眷属がいる。(……神仏習合！ こんなところに残っていた？)

それは、失われたはずの信仰のかたち。私は急いで、それをデジカメに収めた。心の中に、私なりの「再発見」の種が、芽吹いていた。撮影係になってよかった、見つけられてよかったと、思った。

フィールドワークを終了して数日後、私たちはミーティングを重ねた。撮影した写真をメンバーと検分し、発表に使えるアングルや事物の写ったものを選定する。そしてそこから、大仕事だ。写真の編集と修正、プレゼンテーションの基軸となるデータ作り……やるべきことは、たくさんあった。

写真の編集・修正作業はさほど苦ではなかった。補正作業に使うソフトとは、もう数年付き合ひがある。慣れたものだ。ただし、神社を撮った写真に、不審な手形が写り込んでいた時は、さすがの私も意気消沈した。情けない裏話であるが、これで作業が数日停滞した。怖くて。デジカメの性能が上がるのも、良し悪しかもしれない……と、私は薄く笑った。それも、発見だった。

この「再発見」プロジェクトで私が見たのは、寺社の古い史跡だけではない。歴史を紡いだ、人の心。ともに学び、笑う仲間の心。そして、それらを見出すことに喜びを感じる、自分の心だった。

この有意義な時間は、これからも続けて欲しい。他の学生にも、市民にも体験してもらいたい。そして発見した種を、いつか結実させるために、我々は堺に歩みだすことを忘れてはならない。

南大阪・堺市泉北地域・地域資源発掘・発見プロジェクト

帝塚山学院大学人間文化学部 3 回生 川畑雅人



小谷城址郷土資料館

本学は、南大阪の泉北ニュータウンの中にあります。私たちのメンバーは、今回の泉北地域の地域資源発掘・発見プロジェクトを地域の活性化にも役立てばと考え、「地域に学び、地域と歩み、地域を作る」という目標をかかげ、地域に住む、次世代を担う小学生の視点

による地域資源の発掘を考えました。

このプロジェクトに参加したはるみ小学校の5年生の生徒さんと地域のサポーターとわたしたち大学生のサポーターがいくつかのチームを作り各地域資源の発掘・発見のために調査し、訪問しました。

まずは、堺の豊田に残っている「小谷城址」を子どもたちと調査・訪問しました。

この小谷城址は現在では郷土資料館になっていて、地域の歴史、文化についていろいろと知ることができました。小谷城は、1231年に造られたものと考えられていますが、1578年の8月の戦いで破れ、小谷城、東山城、西山城の3つの鼎城が落とされました。

今の小谷城址郷土資料館は江戸時代のはじめ頃に小谷城址に建てられたもので、郷土資料館の中には火縄銃や、民俗資料としての農具、工作用具、考古資料としての須恵器などが提示物としてあり、

訪問調査の小学生も興味深く耳を傾け、火縄銃や農耕具などに実際に触れて楽しそうでした。

もうひとつのチームは、「堺自然ふれあいの森」を訪問調査しました。

自然環境の保護、活用、復元を図り、地域資源発掘・発見チーム里山の保全を地域へ広げ、緑のまちづくりを目指した「森の学校」ともいえる施設です。

当日はあいにく雨の降る日でしたが、「ふれあいの森」で育てられたもち米や野菜を使ってお餅つきをしたり、いも汁を食べたりして食育の大切さも学びました。



地域資源発掘・発見チーム「歴史キッズ」



地域資源発掘・発見マップ

まだまだ、このプロジェクトは中間報告ですが、最終的には、地域資源マップとして「地域す・ご・ろ・く」というようなかたちで日常的に地域の方が利用いただけるマップに仕上げたいと考えています。

地域子どもたちと地域のサポーターのみなさん、そして私たち学生という世代を越えた人たちとともに泉北地域の歴史、自然、環境、人材などのあらゆる資源を発掘、発見することによって、自分たちが住んでいる“まち”への興味・関心が高まり、地域への愛着心を育むとともに、みんなで考える新しい街づくりが創造できるのではないかと思いました。地域のみなさん、はるみ小学校のみなさん、ご参加、ご協力ありがとうございました。

南大阪の歩き方への感想



和歌山大学チームは、メンバーの興味に基づいて、4つの班に分けて調査を行い、その結果を集約して「大阪府南部から和歌山県北部の歩き方マップ」を作成しています。今回の調査活動に参加した感想を、班ごとに書いてもらいました。

駅周辺班

駅周辺班は和歌山県の貴志川線と橋本市、大阪府泉佐野市の日根野を調査しました。調査では、地図やネットでは取り上げられていないような情報を得て、新たな発見ができた点ですごくよかったと思います。例えば、橋本駅周辺には古い商店街がありレトロな雰囲気が出ていてとても癒され、また町の人に道を尋ねたりする際に親切に対応してくださって、人々の温かさを感じました。調査場所を決めるのに少し苦労しましたが、自分たちが知らない場所を知ることができ、とても楽しく調査できました。

(加藤久美子)

温泉班

この企画を通して同じ学年だけではなく、違う学年の人とも関わることができました。

いろいろな人たちと出会い、会議などを重ねるたびに様々な視点から意見や意見を聞くことができ貴重な体験ができました。時には意見のすれ違いで大変なこともありましたが、

色々なことを学べたので今となってはとてもいい思い出になっています。

特に、調査をすることで自分のこれまで知らなかった和歌山を知ることができ、本当に楽しかったです。もう少し時間があり、みんなの予定が合っていればもっと調査ができたと思います。そこがちょっと残念でした。(川元美咲)

グルメ班

マップ作りに参加して、和歌山の良い所を垣間見ることができました。調査を通して地元の人々と触れ合うことができ、且つ彼らがどのような考えを持って和歌山を見ているかを少し知れた事が、この企画の一番の収穫だと思います。

しかし、私たちの作ったマップでどのようにして和歌山の良さを伝え、和歌山を訪れる観光客を増やせるかについて考えるのが大変でした。完成したマップで多くの人が和歌山に興味を持ってほしいです。(竹島里美)

景色班

今回のこの企画で楽しかったことは、現地調査を通じてさまざまな場所を知ることができ、新たな発見ができたことです。また、調査した先々で地元の人々とふれあい、地元のさまざまな話を聞いたことが良かったと思います。しんどかったことは、編集作業です。何をどのようにまとめたら良いかわからず、自分たちの調べたことや言いたいことが上手く伝えられなかったことが大変悔しかったです。

(宮本晃伸)

「アジア主要都市留学生サミット開催される！」

平成19年10月6日（土）に大阪府立大学において「アジア主要都市留学生サミット」を開催しました。当日は、アジアの11の主要都市・地域（北京、上海、遼寧省、江蘇省、香港、ソウル、釜山、ホーチミン、シンガポール、バンコク、デリー準州）出身の留学生と大阪出身の学生が集まって、「アジア地域の多様な発展—私の主張—」というテーマのもとに活発なパネルディスカッションを展開し、それぞれの出身都市・地域の「食」「文化」「観光」などを紹介したうえで、日本、大阪での生活体験をふまえて以下のような提言を行いました。



これらの提言は、日本語、英語、中国語、韓国語による報告書にまとめ、平成19年10月25日（木）、26日（金）に開催された「アジア主要都市サミット」に参加した各都市・地域の首長に手渡されました。

出身都市・地域に対する提言

1. 環境問題への取り組み
 - (1) ゴミの分別の推進
 - (2) 車の排気ガスの抑制
 - (3) ビルの屋上など都市における緑化の推進
 - (4) 日本の技術を活用して、ゴミ資源を利用した発電の普及
2. 都市の公共交通の整備
 - (1) 環境にやさしい大量輸送力をもつ公共交通の整備
 - (2) 地下鉄の整備—先進的技術をもつ日本の地下鉄の活用

3. 個人を尊重し、障害をもつ人達へ配慮した都市づくりの策定と施設の整備
4. さまざまな国・都市・地域の人々の活発な交流
5. 森林伐採をやめ、緑の保全の推進
6. 環境・都市・交通問題などの教育の充実

大阪に対する提言

1. 都市だけでなく田舎でも「英語、中国語、韓国・朝鮮語などの外国語」での観光案内の拡充
 2. 日本での就職への支援
- これらの提言は、出身都市・地域や日本・大阪の問題のみではなく、アジア全体の課題として考えていかなければならない。

提言者

- | | |
|---------------------------|--|
| 北京出身：于 健 | （桃山学院大学大学院経営学研究科博士後期課程3回生） |
| 上海出身：陳 友駿 | （大阪市立大学大学院経済学研究科博士後期課程2回生） |
| 遼寧省出身：陳 施 | （大阪市立大学大学院工学研究科博士前期課程1回生） |
| 江蘇省出身：杜 君 | （桃山学院大学経済学部経済学科3回生） |
| 香港出身：鄭 琪 | （羽衣国際大学産業社会学部産業ビジネス学科3回生） |
| ソウル出身：金 姫淑 | （大阪大学大学院言語文化研究科言語社会専攻日本語・日本文化専修コース博士前期課程2回生） |
| 釜山出身：金 炫志 | （大阪大谷大学文学部日本語日本文学科4回生） |
| ホーチミン出身：ファム スアン テウ ヴァン | （大阪女子大学人文社会学部人文学科4回生） |
| シンガポール出身：ユアン シーユン | （関西外国語大学 留学生別科） |
| バンコク出身：パンサムット カンピー | （帝塚山学院大学人間文化学部文化学科4回生） |
| デリー準州出身：モハammad モイン ウッディン | （大阪大学大学院文学研究科研究生） |

堺市マンション壁画制作によせて

「子供たちの笑顔にふれて」

最初、僕は「子供たちにどんな風に絵を描かせよう」、とか「どんな風にすれば楽しんで描いてもらえるだろう」とか、難しく考えていました。しかし、子供たちは絵の具を渡したあと、すぐさま自分の世界に入り、楽しげに描き出したのです。なるほど、僕たちがどれほど難しく考えるだけ無駄だったのです。子供たちにとって絵を描くのは楽しいもので、お遊戯のひとつなのです。だからこそ、子供たちは素直に自分の世界を表現できるのだ、と思いました。これはとても大切なことです。大人になるとこの気持ちは薄れていくものです。僕はそれをあらためて実感しました。

絵というのは悩んで、悩んで、苦しみながら、それでも描き続けるものだと思います。自分との戦いです。少なくとも僕は

そうしながら描いています。確かに絵は楽しい、ですが決してそれだけではありません。苦しいことのほうが多いぐらいです。だから、ついつい楽しいという最初の感情を忘れてしまいます。これはとても悲しいことです。

子供たちがただただ楽しそうに描く姿を見て、僕は一番大切なその感情を思い出しました。そう、絵を描くというのは楽しいことなのです。それを僕は子供たちに教えられた気がします。

大阪芸術大学美術学科 中嶋朗雄



会員を募集しています!

南大阪地域大学コンソーシアムの会員になりませんか? 本コンソーシアムは、南大阪地域の大学や大学関係者の皆さまの参画により運営されています。大学相互の連携や地域社会の発展に向けた事業に参画・協力ください。

- 会員区分: 法人会員 (年会費10万円~70万円)
 個人会員 (年会費1万円)
 賛助会員 (年会費1口5万円から)



関西国際空港(株)は南大阪地域大学コンソーシアムの運営を支援しています。

編 ☆ 集 ☆ 後 ☆ 記

☆思い返せばあんなこと、こんなこと…春の訪れとともに事務局を卒業します。ありがとうございました(^ ^)/ (あ)☆あっという間の1年でした。(う) ☆1年間ありがとうございました。(ん)

特定非営利活動法人 南大阪地域大学コンソーシアム
 ニュースレター第13号 (2008年4月1日発行)
 発行: 特定非営利活動法人 南大阪地域大学コンソーシアム事務局
 〒591-8025 堺市北区長曾根町130-42 さかい新事業創造センター1階
 TEL: (072) 258-7646
 FAX: (072) 258-7641
 mail: office@osaka-unicon.org
 URL: http://www.osaka-unicon.org